

## 我孫子登山倶楽部のご紹介

我孫子登山倶楽部HPにご来場いただきありがとうございます。

我孫子登山倶楽部は、我孫子市近郊に在住・在勤の山好きの集まりです。昭和53年(1978年)の設立以来、35年に及ぶ歴史の中で、無事故で幾多の山行を続けていることが我々の誇りです。

現在の会員は、女性5割、男性5割の総勢約90人で、年齢層は40代から70代までと様々ですが、平均年齢は年々上昇しており大よそ60歳半ばといったところでしょうか。それでも、東京近郊の低山ハイクから、日本アルプス縦走、沢登り、雪山とバラエティに富んだ山行を四季通じて年間80件程実施しています。

特に登山倶楽部の特徴は常にテーマを持ちいろいろな山に登ることです(テーマ山行)。

次に我孫子登山倶楽部が日々どのような運営、活動を実施しているか紹介いたします。

### < 1. 倶楽部の運営 >

登山倶楽部の運営は、毎年3月に開かれる総会で決定された活動方針を基本に、毎月第一木曜に行われる運営委員会、毎月第3土曜に行われる定例会と、月報である「あしあと」(毎月15日頃発行)を中心に運営されています。

総会では、年間の活動報告と次年度の活動方針が会員の総意として承認・決定されます。また、会長をはじめとした役員やリーダー委員の選任、会則の改正等の重要な議題も総会で決定されます。

運営委員会ではリーダー委員、会務委員を中心とした倶楽部の役員が集まり、山行企画の審議、各種イベントの協議・事務連絡などを行っています。

定例会は会員全員が出席する場で、「あしあと」に掲載された山行企画への参加申し込みや前月に行われた山行の報告と参加者の感想発表、また講習会等が行われます。

なお、会長以下会務委員等の役員は会員の中から選ばれますが、持回りが原則で、会員全員参加による登山倶楽部の運営が図られています。

### < 2. 安全登山 >

登山倶楽部は安全登山を第一の目標に掲げ、様々な取組みを通して設立以来の無事故を続けています。

山行はリーダー委員が企画し、毎月の運営委員会(第1木曜日、天王台北近隣センター)で審査され、その審査をパスした山行だけが「あしあと」に掲載され、参加者募集が行われます。

リーダー委員は、その経験・人柄・体力等の総合的な判断によりリーダーにふさわしいと認められた人が会員の中から選ばれます。現在は30人程がリーダーとして活躍しています。

リーダー委員会では、山で必要とされる様々な技術・知識の習得を目的として、救急救命法・テーピング・読図・気象・パッキング・テント幕営・ロープワーク・岩登り・沢登り・雪山歩行等の講習会を実施しており、多くの会員が参加しています。会員ひとりひとりの安全への意識をより高めることを目的として、KY(危険予知)活動も実施しています。

また、山行の実施に際しては山行計画書の提出や下山報告を義務化し、より一層の安全登山を図っています。

### < 3. 山行記録 >

年間60~70件に上る山行の記録・報告は「我孫子登山倶楽部ホームページ」と「あしあと」に掲載されるだけでなく、年度末に発行される「山孫子」という冊子に参加者の感想文とともにまとめられます。

これらの記録は山の思い出を偲ぶためばかりでなく、次の山行を企画する上で貴重な資料となります。

### < 4. 会員募集と新人訓練 >

会員の募集は毎年12月の我孫子市広報に掲載されます。また我孫子登山倶楽部ホームページでは入会に関するお問い合わせを随時受け付けています。

応募資格は、我孫子市近郊在住・在勤の方で、年齢は原則として60才位までとしています。

応募の後、説明会・面接を行って入会が決定され、3月の総会で会員に紹介され正式に会員となります。しかし、このやり方では入会希望の方に最大1年間近く入会を待っていただくこととなりますので、今は年度途中からでも随時準会員として入会を認めています。

4月からは新人訓練が行われます。新人担当のリーダーを中心に、山の道具の買出しに始まり、山の基本的な技術・知識が身に付けられるよう、日帰り・山小屋・テントといった新人を主体として山行が年4回程度行われます。翌春には卒業自主山行が行われ、晴れて2年生になります。

## < 5. 年間行事 >

我々は、会員相互の親睦と地域社会とのつながりを図るため、次のような行事を毎年行っています。

4月 新人歓迎山行

6月 装備講習会

8月 納涼会

9月 リーダー会企画大型山行

⇒ 2015年度は9/19～21 奥日光の山々12ルートに参加30数名で実施

10月 アート展（天王台北近隣センター）

12月 忘年山行

12月 忘年会